

## 地区大会 (District Conference)

地区を単位として、地区内外のロータリアンとその家族が年に一度、一堂に会す「地区大会」。地区大会は、ロータリーに関する情報交換が行われる場であるとともに、親睦の場ともなります。近隣のクラブ間では交流する機会もありますが、同じ地区内でも、遠いクラブと交流をもつのは難しいもの。地区大会は「ロータリーを広げる」チャンスです。

いつ、どこで、どんな人たちが

地区大会の開催日程は、ロータリー、地区協議会、国際協議会、国際大会、いずれの日程とも重なってはいけません。更に、国際大会の前後 8 日間も、除外しなければなりません。国際ロータリー (RI) 理事会としては、地区大会をロータリー年度 (7 月から始まって 6 月まで) の前半に、祝日を避けるなどして 2~3 日の日程で開催するよう、奨励しています。

場所は、できるだけ多くの人が出席できて、登録料を妥当な額で抑えられるところが望まれています。地区内のクラブの承認があれば、隣接地区か、比較的近接している地区内でも、開催することができます。また、RI 理事会の承認を得られれば、2 つ、またはそれ以上の地区が合同で大会を開催することも可能です。その形式を「合同地区大会」といいます。

参加できる人に、制限はありません。地区内外のロータリアンとその家族、インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、ロータリー財団国際親善奨学生や学友、米山記念奨学生、GSE (研究グループ交換) プログラムのメンバーなどです。来賓として、開催地の市長などと呼ぶ場合もありますし、大会の記念講演会などを、一般公開にすることもあります。

### RI 会長代理の役目

RI 会長は会長代理を選任し、地区大会に派遣しています。誰が来訪するのかは、直接ガバナーに、通知されます。大会での RI 会長代理の任務は、代理として講演を行い、各種行事に参加して親睦を深め、ロータリー情報を伝達することです。大会への参加以外にも、可能な限り大会前後に日程を組み、その地区のロータリークラブや奉仕のプロジェクトを訪問するべきである、とされています。RI 会長代理は夫妻で訪問し、旅費は RI から支払われますが、宿泊費やその他諸々の大会関係の費用は、通常、大会費用で賄われます。RI の最高役員である RI 会長「代理」なので、席次も RI 会長に準じ最高位に準備されます。

### 大会の目的

大会の目的は、「地区の全ロータリアンが出席し、意欲を喚起する講演を聴き、クラブと国際ロータリーの重要な事柄について話し合う。」(『2013 年手続要覧』P34)

また、地区大会では、規程審議会に提出する立法案を承認、または提案することができます。規程審議会に送る代表議員を選出することもできます。

### 2002-2003 年度 (阿久津ガバナー年度) 地区大会を振り返って

福島ロータリークラブが阿久津 肇ガバナーを擁し、ホストクラブとして福島市 (福島県文化センター、福島市体育館) にて地区大会を開催したのが、13 年前の平成 14 年(2002)10 月 18~20 日で、ホスト役は昭和 58 年(1983)の故田中善六ガバナー時代以来 19 年ぶりのことでした。当時は新世紀を迎え、世界的に景気低迷の激動期にあつて、ビチャイ・ラタクル RI 会長(タイ国)が掲げたテーマ「慈愛の種を播きましょう」に沿って「地域還元」の大会を目指して、福島クラブ全会員が英知と熱意を結集し、手づくり、地域主義を貫いた結果、見事、大会は成功を収め、各方面から賞賛を頂きました。

10 月 17 日

ボイド RI 会長代理夫妻が成田空港に到着、貸切バスで宿舎の飯坂温泉「摺上亭大鳥」に深夜到着。福島ロータリークラブ河田会長以下 20 名余が横断幕を掲げての出迎えに会長代理夫妻が大変感激されました。

#### 10月18日 大会第1日目

ボイド夫妻の希望により福島市内視察（県立美術館訪問）。18 時より大会初日の公式行事「RI 会長代理夫妻歓迎晩餐会」がホテル辰巳屋にて開催。当クラブ会員夫人 10 数名が和服姿で接待。阿久津ガバナーご夫人が所属する合唱団の演奏で花を添えました。

#### 10月19日 大会第2日目

午前に大会委員会と会長・幹事会（ホテル辰巳屋）、13 時より福島県文化センターにおいて「本会議Ⅰ」阿久津ガバナーの開会点鐘に続き、ニュージーランド国歌、国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱（佐々木恭之介会員がタキシード姿でタクトを振る）、木下隆実行委員長の開会の言葉、河田会長がホストクラブを代表して歓迎の言葉（福島藩の初代藩主・板倉重寛公が福島に就封してより 300 年の年に奇しくも地区大会が催された趣旨の思いの籠もった挨拶）、阿久津ガバナー挨拶、ボイド RI 会長代理挨拶、各種表彰、大会決議などの諸行事が行われた後、記念シンポジウムが開催されました。

#### 記念シンポジウム「ふる里の水をきれいにするために」

実行委員会・クラブ員が努力を傾けて実現した手づくりのシンポジウムは大好評を得て、その後の当クラブの重要事業「水資源を守ろう」の出発点となり、「あぶくま清流協議会」の発足につながっていきました。

◇コーディネーター永幡幸司（福島大助教授）◇基調講演・シンポジスト廣木謙三（世界水フォーラム事務次長）◇シンポジスト新妻敏彦（県水資源グループ長）・須藤康子（コープふくしま理事）・伊原達夫（当会会員・NHK 福島放送局長）

#### 10月20日 大会第3日目

9:30「本会議Ⅲ」東京農大教授・小泉武夫氏による記念講演「これでよいのか日本の食」講演内容は後日、「ロータリーの友」に採録されました。

17:30 より会場を福島市体育館（霞町）に移して大懇親会が開催されました。登録会員 1500 人のほか GSE 留学生、米山奨学生も参加した国際色豊かな大集会では、和太鼓や吹奏楽などのアトラクションが華やかに行われ、「手に手つないで」の大合唱で 21 時フィナーレとなりました。阿久津ガバナーのもと、福島ロータリークラブの総力を傾けた地区大会は、参加者の笑顔と、熱気の余韻を残して幕を閉じました。（「60 年のあゆみ」より抄録）

#### ★福島ロータリークラブのホストによる地区年次大会

- 1、昭和 34 年(1959)10 月 350 地区 真崎健夫ガバナー(札幌) 会長 下田与吉 大会委員長 岩永幾太郎 於・福島市公会堂 ◇アトラクション（相馬民謡踊）
- 2、昭和 38 年(1963)353 地区 村上正徳ガバナー 会長 角田林兵衛 於・福島市公会堂
- 3、昭和 49 年(1974)10/12-13 353 地区 大原嘗一郎ガバナー 会長 渡辺正之 大会委員長 下田与吉 RI 会長代理 原田秀雄 ◇シンポジウム「インフレーション下のロータリーの活動」リーダー兼子俊一 PG ◇アトラクション 講演(藤原弘達)・財団奨学生のピアノ演奏・FMC 混声合唱団の合唱 於・福島県文化センター
- 4、昭和 58 年(1983)10/1-2 253 地区 田中善六ガバナー 会長 佐藤盛男 大会委員長 和久幸男 RI 会長代理 竹田恒徳 ◇シンポジウム「みんなにロータリーをみんなに奉仕を」浜田耕一 PG ほか ◇アトラクション 講演 磯村尚徳 NHK 報道局長・福島 RC ファミリー合唱団・陸上自衛隊音楽隊 於・福島県文化センター

(文責 丹治正博)